



平成25年度 全国保健師長会 ニュース No.1

第1回理事会・講演会報告

平成25年5月11日 運営会議発行

今年度からまた全国保健師長会ニュースを復活することになりました。

第1号は、去る4月20日にホテルリステル新宿で開催した第1回理事会及び講演会の概要をお知らせします。

《第1回理事会》

◇開催日時：平成25年4月20日(土) 13:00~15:00

◇会場：ホテルリステル新宿

1 今年度の活動テーマ

「“社会の課題に向き合う保健師活動の展開” —公衆衛生看護活動の原点に立ち返り、命と健康と生活を守る活動を目指し—」で、以下の4項目を柱として活動します。

- ①保健師の地域保健分野における専門性の確立
- ②ブロック、支部活動の強化
- ③息の長い被災地支援を実施
- ④会員の拡大

2 最重点活動目標

「保健師活動の質の向上・標準化の取り組み」「情報発信の強化」「保健師教育の5単位臨地実習の平成26年度実施に向けた取り組み準備」「被災地支援の継続実施」「市町村の会員拡大にむけた取り組み」の5つです。

具体的には、保健師活動指針や災害マニュアル改訂版の周知、各部会活動とブロック研修の充実、ホームページの見直し、被災地支援等を行います。

3 調査研究事業

地域保健総合推進事業で「大規模災害時の公衆衛生看護活動にかかる力量形成に関する調査研究」、「保健師活動とソーシャルキャピタルに関する調査研究」を、保健師長会調査研究では兵庫県支部の「妊娠期から行う効果的な禁煙支援について」、大阪市支部「管理期にある保健師の役割について」が採択されました。

4 ブロック研修会

今年度のテーマは「保健活動指針の周知と各自治体における取り組みの推進」です。開催方法は、以下のいずれもしくは両方で、支部の実情に併せて企画をしてください。

- ①「方針に沿った研修会の実施」
テーマ：地域における保健師の保健活動に関する指針
手法：講演とグループワーク

- ②「実践報告会の開催」
テーマ：地区担当制、組織横断的な仕事のあり方、統括的役割の保健師のあり方、地区診断におけるPDCAサイクルなど

※なお、ブロック研修会の開催にあたっては「災害マニュアル改訂版」の説明も入れていただく予定です。

5 その他

部会、委員会、各ブロック事業報告、国家要望について説明を行いました。



《講演会》

「地域保健をめぐる国の動きとリーダーに期待すること」

厚生労働省がん対策・健康増進課保健指導室 尾田進室長

●地域保健対策基本指針の改正について

地域保健対策の推進の基本的な方向としてソーシャルキャピタルの核となる人材の育成に努めると共に、企業・保険者、学校との新たな連携を構築し、地域全体が相互に支え合いながら健康づくりの環境整備を行うことが盛り込まれた。また、地域における保健師の保健活動指針等の見直しについても、保健師自身も研究や実際の取り組み等とおしてアピールを行い、活動をより顕在化していく努力をして欲しいとの話がありました。

●東日本大震災支援と今後の保健師の活動について

平成 24 年度に開催された「被災地への保健師の派遣の在り方検討会」の報告書において、災害発生時の応援態勢の段階的な構築と、甚大な被害で保健所が機能できない場合を想定した、派遣要請や受け入れ体制強化に関して都道府県の本庁と市町村に「負荷される役割」が新たに加えられた。今後、派遣保健師の受け入れや支援活動を円滑に行うために、分散配置されている保健師を震災時に一括配置に切り替えるなどの対応も必要となる。また、自治体間の連携や対応スキルの研修会等、平時からの準備・調整が重要になることから、体制整備の際には保健師としての視点や目線を入れていくことが必要であると指摘されました。

●国民健康づくり運動「健康日本21（第二次）について」

平成 25 年度にスタートした健康日本 21（第二次）に関して、新たな方向として「健康格差の縮小、重症化予防、健康づくりに無関心な者も含めた環境整備の重視、社会環境の改善」が示され、具体的な目標には「問題飲酒の減少、成人の喫煙率の減少」が加えられた。推進には保健師による取り組みも必要となることから、計画策定や評価には保健師も関与して欲しい。特定健診・特定保健指導では標準プログラムの改訂版について、①情報提供の記載の充実と活用しやすい文例集の提示 ②血圧や禁煙、アルコールのリスクに着目した保健指導の強化 ③特定保健指導におけるポイント制の見直し ④HbA1cの表記JDS値からNGSP値に変換されたこと。その他に、健康づくりのための身体活動基準 2013（アクティブガイド）リーフレットの活用、生活習慣病重症化予防のための戦略研究として今後 5 年間で受療行動促進モデルによる保健指導をおこなう予定であること等が話されました。

●リーダー保健師に期待すること

保健師数は年々増加しているが、平成 24 年度の交付税措置人数(試算)33,056 人に対し、実人数（普通会計）28,557 人と差がみられる。また、保健師の活動への期待は災害支援や健康づくり等様々な分野で大きくなっており、直近では生活保護分野への保健師配置の要請等もあることから、今後は現場における保健師の活動や役割に関するアピールを強化し、活動推進や増員に向けた一層の努力が必要であることを強調されました。

平成 25 年度全国保健師長会活動体系図、ブロック研修に関する情報、尾田室長講演のハイライトは、会のホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

【編集後記】

今回は第 1 回理事会と講演会の報告をさせていただきました。

ニュースを通じて会の活動を身近に感じていただき、より一層会の活動にご協力いただけますことを願っております。なお、ご意見・問い合わせは全国保健師長会事務局までお寄せ下さい。

（作成：広報委員会）